

「上海市浦東新区唐鎮新市鎮核心区域城市」方案設計等の受注について

株式会社三菱地所設計はこの度、上海市浦東新区唐鎮地区の新市鎮核心区域城市における地下鉄駅周辺地区方案設計業務、景観・環境、サイン及び照明に関するルール策定業務、全体に関する顧問業務の3業務を受注しました。

本業務は、成長著しい上海市の新都心開発の一環として、市中心部と浦東国際空港との中間にあたる唐鎮地区の再開発が計画され、昨年6月、その概念設計について当社を含む4者(中国、米国、英国、日本から各1者)にて国際コンペが実施され、11月に当社が当選したものです。

当社はコンペ当選とともに都市計画設計業務を受託し、概念設計の具体化に協力してまいりましたが、引き続き同地区の中心地区を対象とした今回の業務を、上海市唐鎮新市鎮開発建設指揮部より受託したものです。

当社では引き続き中国での国際コンペ等への参加や設計コンサルタント業務の受注に積極的に取り組んでまいります。また、2003年4月に提携し、人事交流・情報交換・トップの相互訪問を実施している中国上海の大手設計事務所「現代設計集団華東建築設計研究院有限公司」とも提携関係を維持強化しております。

【唐鎮新市鎮 計画概要】

- **計画面積** 18.17km²(新宿区とほぼ同じ)内、中心地区 約150ha(参考:大手町・丸の内・有楽町地区約120ha)
- **計画人口** 約15万人
- **計画方針** 上海市中心部と浦東国際空港との中間に位置し、「浦東新区」の重要開発拠点として、周辺の科学技術産業業務地区を含めた行政・文化の中心地区、国際的住宅地を予定。
- **現状** 農地、工場、低層住宅等

【今回受注した業務の内容】

- **中心地区のコンセプト** 2009年延伸予定の地下鉄2号線(上海市中心部～浦東国際空港)駅、歴史的ランドマークである「聖母大聖堂」、新たに築く高さ30mのランドスケープマウンテン「香華山」を核として、様々な商業・文化・業務・住宅の建物群を低層で構成し、ヒューマンスケールで多様なアクティビティを生む街並みを形成する。
- **地下鉄駅周辺地区方案設計業務**(方案設計:日本の基本計画後半と基本設計前半に相当)同地区のランドマークとなるオフィスと商業施設、ランドスケープ、サインの方案設計業務を対象。
- **中心地区のルール策定業務** 景観・環境に関するルール、サイン計画に関するルール、照明計画に関するルールを対象。
- **中心地区全体に関する顧問業務** 都市計画、建築計画に関するアドバイス業務を対象。
- **業務期間**は2006年末までを予定。

以上